

③株式会社玉山製材所 〈岩手県盛岡市〉

間伐材利用による残存型枠「はめ込み式木製化粧パネル」 見た目の美しさと使い易さで売上拡大



堰堤に利用した木製化粧パネル（坂本川）

はめ込み式木製化粧パネルとは

岩手県盛岡市にある（株）玉山製材所の堰堤用残存型枠「はめ込み式木製化粧パネル」が岩手県内外で普及している。従来の堰堤工事で利用する使い捨てのコンクリートパネルに比べ、残存型のため取り外し手間が掛からないこと、はめ込み式パネルにしたため現場での作業がスムーズなこと、表面をR加工（直角の角をカーブに丸めた加工）することで見た目に美しく、周辺環境との調和が取れた仕上がりが可能であることなどの特徴を持つ。

地球温暖化や森林整備の必要

性に対する社会的関心の高まりと共に、間伐材を利用したさまざまな製品が販売されている。しかしながら、間伐材の利用にこだわり製品の機能やデザインの追及が十分になされていないものが多いのも事実である。その点、同社製品は、現場で求められている使い勝手のよさを追求し、デザイン性も重視している。

公共事業が不況に喘ぐ中、同社製品は昨年100件以上の受注を獲得した。さらに、県内の間伐材利用による森林整備への貢献などが評価され、日本住宅・木材技術センターの2010年住宅・木材振興表彰で最高賞の林野庁長

官賞を受賞した。

売れる間伐材製品

もともと土木工事向けの杭材などを手がけていた同社にとって森林整備・間伐材利用に対する関心は高かった。しかしながら、間伐材を利用しただけでは強みといえないのが現実である。そこで小笠原社長が目を付けたのが治山ダムなどの堰堤に利用するコンクリートの型枠パネルだ。小笠原社長は「間伐材を使ったパネルはこれまでもあったが、パネルの間からモルタルが漏れるなど現場の使い難さに問題があった。」という。小笠原社長は、そうした現場のニーズをくみ取り、2枚のパネルを上下左右に少しずつずらすことで、コンクリート打ち込み時のモルタル漏れを防ぐと共に、強度を高め撤去不要の残存型枠とした。さらに、木材の性質を活かした仕上がりとする事で、堰堤が周辺環境に馴染むような仕上がりにした。現場のニーズに対応すると共に、デザイン性を追及することで新たな価値の提供に成功している。

土木工事用資材としての木材の

取り扱いに長年従事してきた同社は、独自アイディアを商品化し、これまでの事業関係者などを通じて着実に販売を伸ばしている。さらに、はめ込み式木製化粧パネルの製造工程で発生した端材等は、家具類やおが粉として活用し、資源の循環利用に努めている。

成功のポイントとこれから

同社製品が現場で支持されている最大の理由は、使い勝手の良さにある。これは製品化の段階から現場のニーズをきちんと把握していたことによる。加えて、残存後の周辺環境にも配慮しデザイン性を追及した付加価値の提供が成功のポイントといえるだろう。同社では、現在堰堤用に限らず、^{のりめん}雪囲いや道路の法面など新たな用途の提案を進めている。



取り外し不要のはめ込み式木製化粧パネルを開発



円柱加工した太鼓材は土木や造園用に使われる

<環境ビジネスのすすめ ～小笠原利雄代表取締役社長からの一言～>

間伐材を有効利用することにより、常々製品についてはお客様の使い勝手の良さとデザイン性を重視しながら商品開発に努めています。間伐材を使えば使うほど森林整備に貢献出来、CO₂の削減に役立つものと思っています。

<企業データ>

株式会社玉山製材所
所在地：岩手県盛岡市玉山区日戸字鷹高 50-18
設立：1964年、資本金：1,000万円
電話番号：019-685-2006
<http://www.tamayama-seizai.co.jp/>

